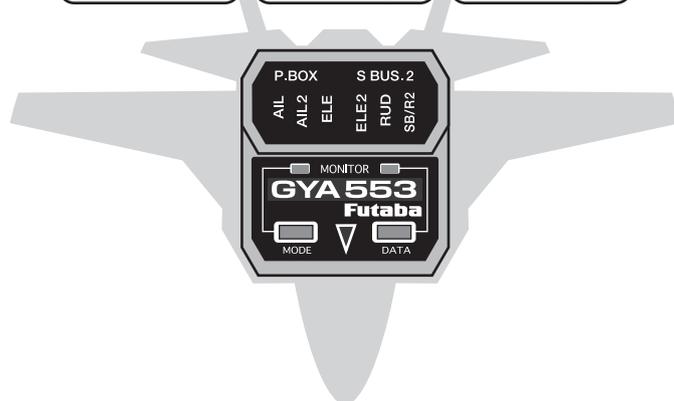
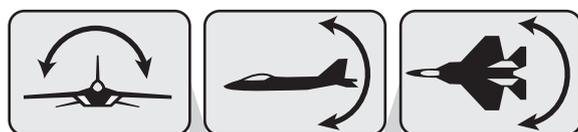




T16IZ
T16IZ
SUPER
GYA553



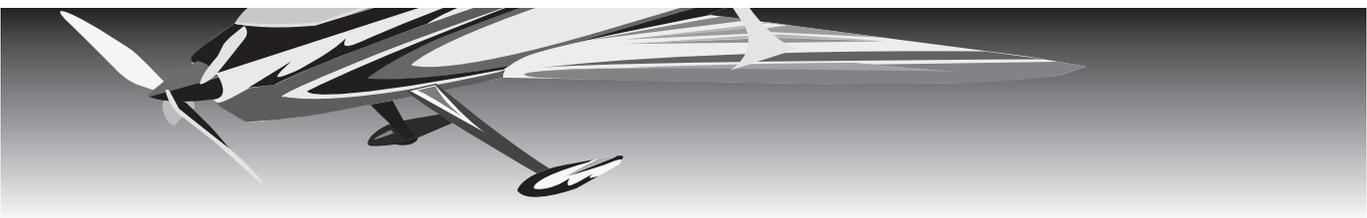
T16IZ/T16IZ SUPER

GYA553 Ver.3

設定説明書

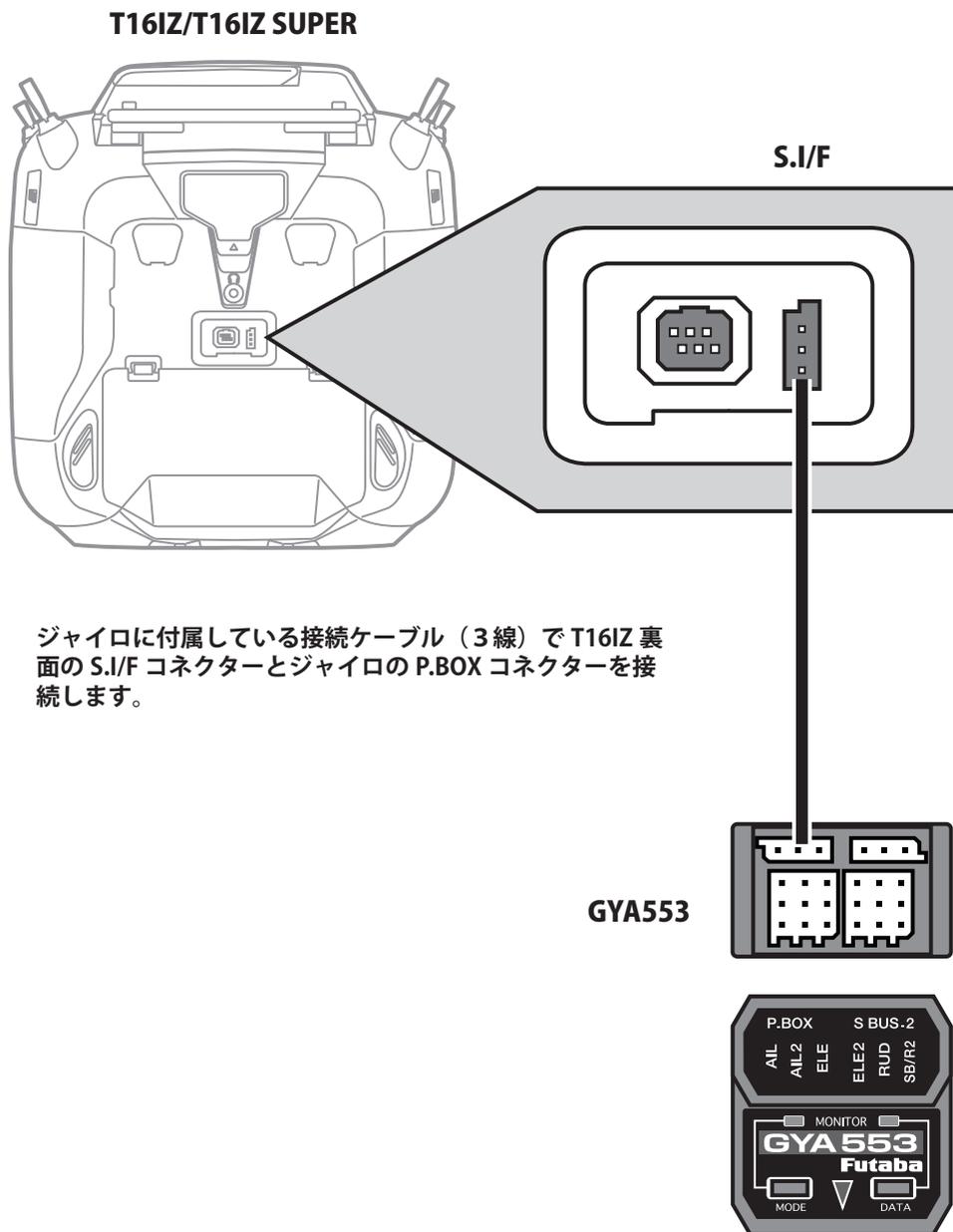
Futaba

1M23Z07716



T16IZ/T16IZ SUPER と GYA553 を接続することで GYA553 の設定を行うことができます。
T16IZ/T16IZ SUPER は最新バージョンへバージョンアップしてご使用ください。

送信機とジャイロの接続



⚠ 注意

- ① ジャイロと送信機の接続ケーブルの抜き差しは、必ず電源を OFF の状態で行う。

1

モデルメニュー	Airplane コンディション1	7.8V	1/1
サーボモニター	コンディション選択	AFR	
デュアルレート	プログラムミキシング	エルロン → ラダー	
エアブレーキ → エレベ	ラダー → エルロン	ラダー → エレベータ	
スナップ・ロール	エアブレーキ	ジャイロ	
アクセラレーション	モーター	ジャイロセッティング	

1. 飛行機のモデルメニュー最終ページで『ジャイロセッティング』を選択

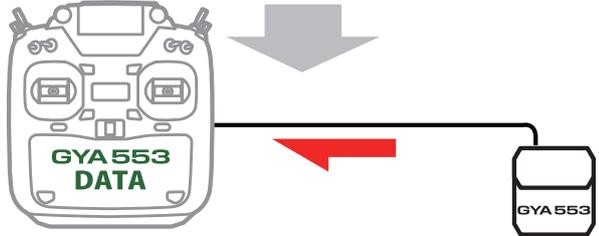
2

読み込んだ後、『書込み』を選択すると送信機に保存されているジャイロ設定データをジャイロに書込みます。

2. 『スタート』を選択

* この時送信機に Gyro が接続されてないと接続確認画面へ移行します。

送信機に保存されている GYA553 設定データを確認したい場合は『はい』で確認できます。



『スタート』を押すと Gyro のデータが送信機へ読み込まれます。

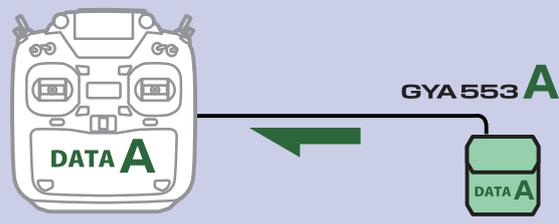
3

ベーシックメニューへ

3. Home 画面表示

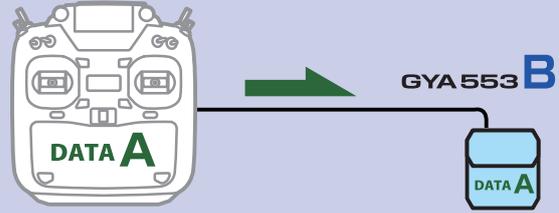
◆ジャイロ A のデータをジャイロ B にコピーする場合

ジャイロ A を送信機に接続して [スタート] を押します。(A のデータを送信機に入れる)



ここでスタートを押すと B のデータが送信機に読み込まれてしまい A のデータが消えてしまいます。

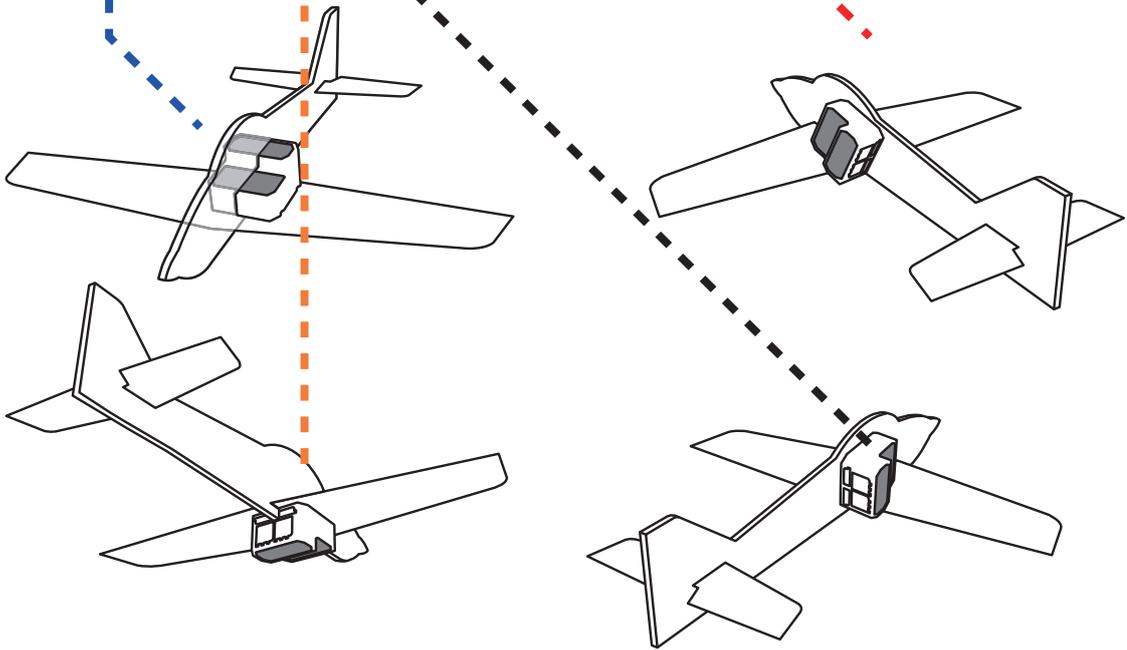
ジャイロ B を送信機に接続して [書込み] を押します。(A のデータをジャイロ B に入れる)



設定 1/7 ジャイロセット方向

設定	Model1	コンディション1	8.1V	1/7
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右
主翼タイプ	ノーマル	エレボン		
尾翼タイプ	ノーマル	Vテール		
サーボタイプ	DG:285Hz	AN:70Hz		
SB/R2 アウト	SBus(HS)	RUD2	Ch3(Thr)	SBus(Std)

機体へのジャイロ搭載方向を入力します。

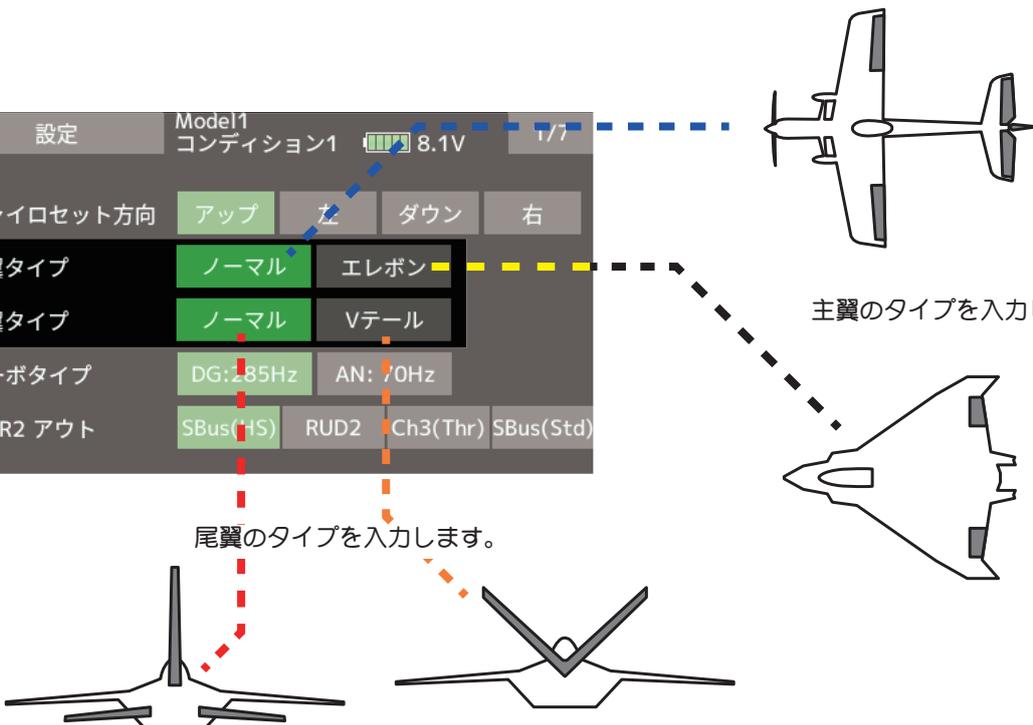


設定 1/7 主翼 / 尾翼

設定	Model1	コンディション1	8.1V	1/7
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右
主翼タイプ	ノーマル	エレボン		
尾翼タイプ	ノーマル	Vテール		
サーボタイプ	DG:285Hz	AN:70Hz		
SB/R2 アウト	SBus(HS)	RUD2	Ch3(Thr)	SBus(Std)

主翼のタイプを入力します。

尾翼のタイプを入力します。



設定 1/7 サーボタイプ

設定	Model1	コンディション1	8.1V	1/7
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右
主翼タイプ	ノーマル	エレボン		
尾翼タイプ	ノーマル	Vテール		
サーボタイプ	DG:285Hz	AN: 70Hz		
SB/R2 アウト	SBus(HS)	RUD2	Ch3(Thr)	SBus(Std)

サーボタイプを入力します。

デジタルサーボ

アナログサーボ

設定 1/7 SB/R2 アウト

設定	Model1	コンディション1	8.1V	1/7
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右
主翼タイプ	ノーマル	エレボン		
尾翼タイプ	ノーマル	Vテール		
サーボタイプ	DG:285Hz	AN: 70Hz		
SB/R2 アウト	SBus(HS)	RUD2	Ch3(Thr)	SBus(Std)

SB/R2 のポートを選択します。

S.BUS(HS)

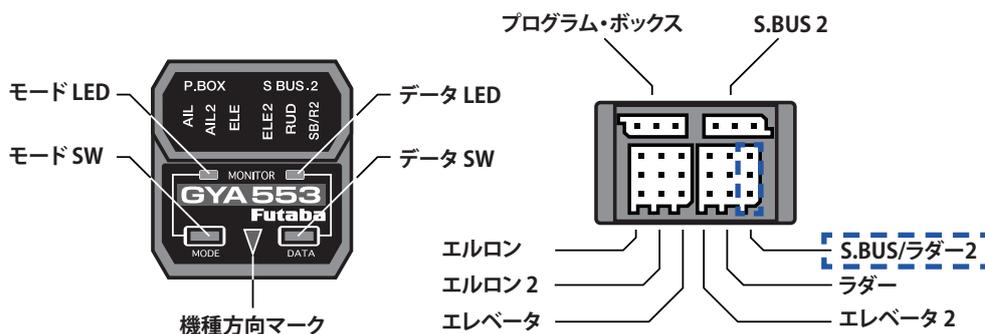
SV サーボを接続する場合は、S.BUS(HS)をご使用ください。

ラダー 2

スロットル

S.BUS(STD)

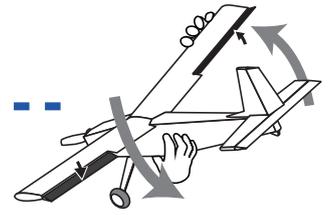
S3175HV、DLPH-1 など、S.BUS(HS)では動作しない場合、S.BUS(STD)を使用してください。



設定 2/7 ジャイロ動作

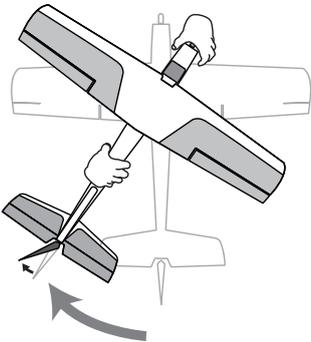
設定		Model1 コンディション1 8.1V		2/7
ジャイロ動作				
AIL	ノーマル	AIL2	ノーマル	
ELE	ノーマル	ELE2	ノーマル	
RUD	ノーマル	RUD2	ノーマル	
AIL3	ノーマル	AIL4	ノーマル	

ジャイロ動作方向を入力します。

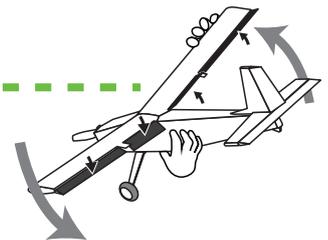
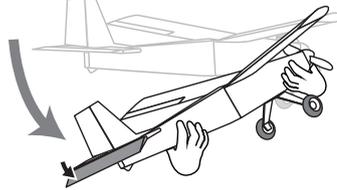


機体を左に傾けてエルロンが右に動作するかチェック

地上で機体を右に振ってみてラダーが左に動作するかチェック



機体を上に傾けてエレベータがダウンに動作するかチェック



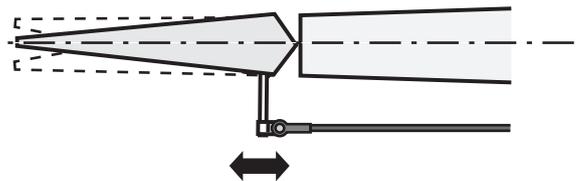
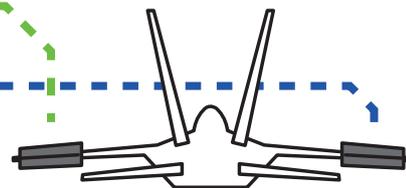
SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3とAIL4の設定項目が表示されます。

※ AIL3とAIL4の設定は GYA553 本体のボタン設定では設定できません。

設定 3/7 ニュートラルオフセット

設定		Model1 コンディション1 8.1V		3/7
ニュートラル オフセット				
AIL	+0	AIL2	+0	
ELE	+0	ELE2	+0	
RUD	+0	RUD2	+0	
AIL3	+0	AIL4	+0	

各舵のニュートラル位置を調整できます。



※ AIL3とAIL4の設定は GYA553 本体のボタン設定では設定できません。

SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3とAIL4の設定項目が表示されます。

ニュートラル位置になるように [△][▽] キーで調整

設定 4/7 5/7 サーボリミット

設定		Model1 コンディション1  8.1V		4/7
サーボリミット				
AIL	100 %	100 %		
ELE	100 %	100 %		
RUD	100 %	100 %		
AIL3	100 %	100 %		

各舵のリミット位置（最大動作位置）を調整します。

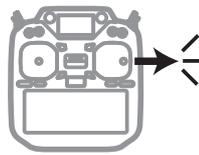
設定		Model1 コンディション1  8.1V		5/7
サーボリミット				
AIL2	100 %	100 %		
ELE2	100 %	100 %		
RUD2	100 %	100 %		
AIL4	100 %	100 %		

使用している舵は、すべて調整してください。

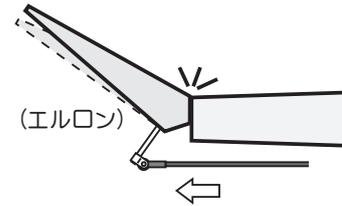
SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されず。

※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA553 本体のボタン設定では設定できません。

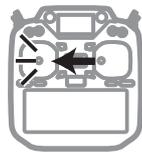
エルロンの例



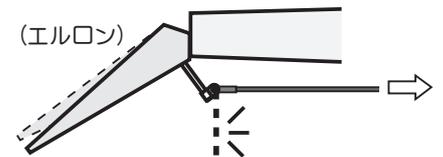
エルロン・スティックを右フル操作して



最大動作位置になるように
数値 (%) を調整



エルロン・スティックを左フル操作して



最大動作位置になるように
数値 (%) を調整

設定 6/7 保持力の調整

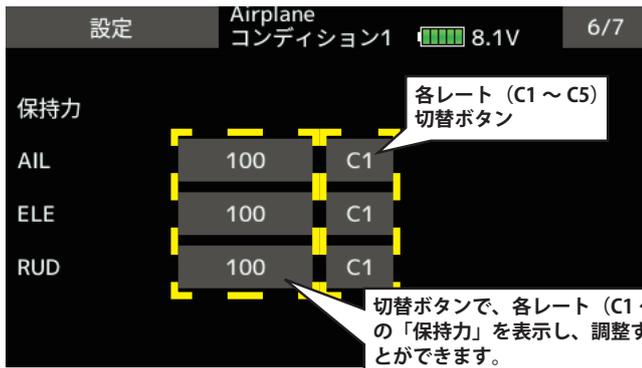
AVCS モード時の機体の姿勢保持力を調整できます。

数値を小さくすると保持力が弱くなり、操作フィーリングがノーマル・モードに近づきます。

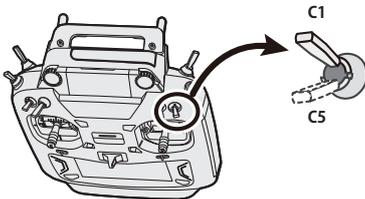
送信機のチャンネル操作で、現在のレートナンバー C1 ~ C5 を表示します。

送信機のフライト・コンディション機能のように、送信機からのスイッチ操作で、AVCS モードの機体の姿勢保持力レートを最大 5 通りのデータを設定して、切替えて使用することができます。送信機の AFR 機能のあるチャンネルに保持力レート切替スイッチを設定し、AFR のポイントカーブで各レート毎にポイントを設定して切り替えることができます。フライトコンディション機能を使用して、フライト・コンディション・スイッチと連動させることも可能です。

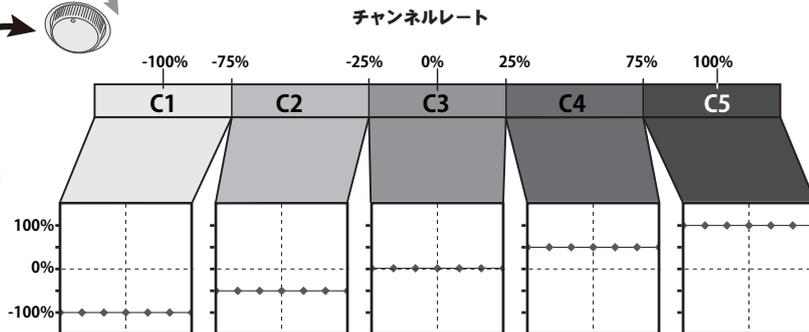
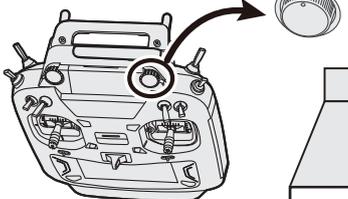
S.BUS ベーシック画面 2/3



DG1 または DG2 の SW に設定した場合



ダイヤルやレバー に設定した場合



設定 7/7 リセット



各設定項目のリセットを行います。実行後は出荷時の初期値に戻ります。

SBUS ベーシックメニュー

使用する送信機に合わせて、各ファンクションの CH 設定をします。使用しないファンクションは INH に設定します。



タッチするとチャンネル
が変更できます。

タッチするとレート切替 CH 設定
ページへ移動します。



保持力レート C2 ~ C5

警告

① ジャイロと送信機が接続している場合のみ、設定変更が可能です。ジャイロと送信機の CH が必ず一致するように設定します。送信機の CH を変更した場合、ジャイロも変更が必要です。



レート切替に使用する CH をタッチして
選びます。



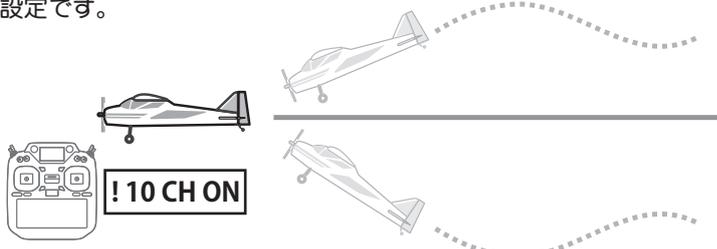
SBUS ベーシックメニューでの
設定項目をリセットします。

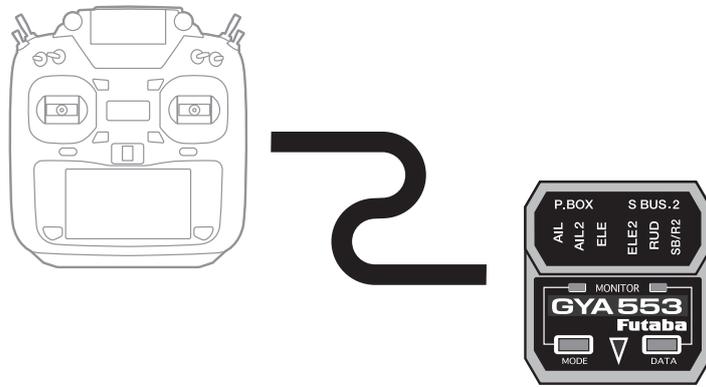
SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が
選択されていると AIL3 と AIL4 の CH 設定項目が表示されます。
ここで、AIL3 と AIL4 の操作 CH を設定すると、ジャイロ制御
された信号が、S.BUS 出力の該当 CH に出力されます。

※ 送信機側のファンクション設定画面の操作 CH と CH 設定と
合わせてください。

※ AIL3 と AIL4 の CH 設定が INH のときは、ジャイロ制御されず、
送信機から送られたデータがそのまま出力されます。

オートリカバリーを ON/OFF
させるスイッチのチャンネル
設定です。





Futaba®